

1 想定項目(案)について

1. 建物被害

- 1.1. 揺れによる被害
- 1.2. 液状化による被害
- 1.3. 土砂災害による被害
- 1.4. 屋外落下物の発生
- 1.5. ブロック塀・自動販売機等の転倒

2. 火災被害

- 2.1. 出火による被害
- 2.2. 消防運用
- 2.2. 延焼による被害

3. 人的被害

- 3.1. 建物倒壊による被害
- 3.2. 火災による被害
- 3.3. 土砂災害による被害
- 3.4. 屋内落下物等による被害
- 3.5. ブロック塀・屋外落下物等による被害
- 3.6. 自力脱出困難者(要救助者)

4. 生活支障等

- 4.1. 避難者
- 4.2. 災害時要援護者
- 4.3. 物資不足
- 4.4. 災害廃棄物
- 4.5. 孤立集落

5. 交通

- 5.1. 道路
- 5.2. 鉄道
- 5.3. 空港

6. ライフライン

- 6.1. 上水道
- 6.2. 下水道
- 6.3. 都市ガス
- 6.4. 電力

7. 通信

- 7.1. 電話

8. 地震水害

- 8.1. 河川・ため池・ダム

9. 施設被害

- 9.1. 重要施設 (※内閣府(2012)での想定なし)
- 9.2. 文化財

2 想定シーン(案)について

(1) 想定シーン設定の考え方

県民の生活様式及び最悪の被害発生を想定して設定するものとする。

(2) 想定シーン(案)

シーン設定	想定される被害の特徴
① 冬・深夜	・多くが自宅で就寝中に被災するため、建物倒壊による死者が発生する可能性が高い。
② 夏・12時	・オフィス、市街地、観光地に多数の滞留者が集中しており、自宅外で被災する機会が多い。 ・木造建築物滞留人口が1日の中で少ない時間帯であり、老朽木造住宅の倒壊による死者数は冬深夜と比べると少ない。
③ 冬・18時	・住宅、飲食店などでの火気使用が最も多い時間帯であり、出火件数が最も多くなる。 ・鉄道・道路が帰宅ラッシュ時に近い状況であり、交通機能支障による影響が大きい。

(前回被害想定においては、夏・冬、昼・夜の区分で想定を実施している。)

(3) 想定シーンを反映する被害想定(案)について

想定シーン	被害想定項目
季節・時刻・風速別	火災被害
季節・時刻別	人的被害

- 内閣府(2012)と同じ手法を予定
- 内閣府(2012)と異なる手法を予定

3 被害想定評価項目・評価内容（案） 一覧

評価項目		評価対象	[評価単位] 評価内容	現行 H12, 13	新想定 H25, 26	新想定検討事項（現行想定からの変更点）
(被害想定項目共通)						<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>④</b> 想定被害に対して、どのような対策が必要であり、その対策によってどの程度被害を軽減することができるか（減災効果）を記載する。</li> <li>・<b>⑤</b> 過去の地震災害の教訓から、数値で評価できない項目であっても、起こりうる被害の様相を記載する。</li> <li>・<b>⑥</b> 想定される被害に対して本県における現状と課題を抽出して必要な対策を提案するものとする（アンケートの活用）。</li> </ul>
建築物	木造建築物	木造建築物	[メッシュ] 地震動・液状化・土砂災害による 全壊・半壊棟数	500m メッシュ	250m メッシュ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>④</b> メッシュの細分化</li> <li>・<b>⑤</b> 土砂災害による建物被害の算出</li> <li>・<b>⑥</b> 積雪による影響を考慮</li> <li>・内閣府が南海トラフ巨大地震の被害想定で用いた最新の知見（以下「内閣府(2012)手法」という。）の採用</li> </ul>
	非木造建築物	RC造・SRC造・S造・その他建築物	[メッシュ] 地震動・液状化・土砂災害による大破・ 中破棟数	500m メッシュ	250m メッシュ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>④</b> メッシュの細分化</li> <li>・<b>⑤</b> 土砂災害による建物被害の算出</li> <li>・内閣府(2012)手法の採用</li> </ul>
	<b>⑦</b> 屋外落下物	建築物	[市町村] 屋外落下物の発生する建物棟数	500m メッシュ	250m メッシュ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規追加項目</li> <li>・内閣府(2012)手法の採用</li> </ul>
	<b>⑧</b> ブロック塀 自動販売機転倒	ブロック塀	[市町村] ブロック塀、自動販売機等の転倒被害数	500m メッシュ	250m メッシュ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規追加項目</li> <li>・内閣府(2012)手法の採用</li> </ul>
出火・延焼	出火	一般火気器具・危険物・化学薬品	[市町村] 冬深夜・夏12時・冬18時の3ケースにおける 炎上出火数・延焼出火数	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価手法の検証（風速による場合分けの検討を含む。）</li> </ul>
	延焼	市街地	[メッシュ] 冬深夜・夏12時・冬18時3ケースの焼失棟数	500m メッシュ	250m メッシュ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>④</b> 建物1棟単位のシミュレーション結果を250mメッシュ毎に集計</li> <li>・評価手法の検証（風速による場合分けの検討を含む。）</li> </ul>
人的被害	死者	住民	[市町村] 建物被害等に伴う死者数	○	拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内閣府(2012)手法の採用</li> <li>・<b>⑤</b> 火災、土砂災害による被害を算出</li> <li>・<b>⑥</b> 屋内・外落下物等による被害を算出</li> <li>・<b>⑦</b> 災害時要援護者（高齢者など）の被災を想定</li> </ul>

評価項目		評価対象	[評価単位] 評価内容	現行 H12, 13	新想定 H25, 26	新想定検討事項（現行想定からの変更点）
	負傷者	住民	[市町村] 建物被害等に伴う重傷者・軽傷者数	○	拡充	・内閣府(2012)手法の採用 ・ <b>新</b> 火災、土砂災害による被害を算出 ・ <b>新</b> 屋内・外落下物等による被害を算出 ・ <b>新</b> 災害時要援護者（高齢者など）の被災を想定
	<b>新</b> 要救助者	住民	[市町村] 建物倒壊、斜面崩壊による要救助者数	—	新規 追加	・新規追加項目 ・内閣府(2012)手法の採用
<b>新</b> 生活支障	長期避難者	住民	[市町村] 当面の住居を失う長期避難者数	○	拡充	・内閣府(2012)手法の採用 ・ <b>新</b> 災害時要援護者（高齢者など）の被災を想定 ・時間による推移を反映した評価
	<b>新</b> 物資不足	食料、飲料水、生活必需品（毛布）、燃料	[市町村] 主要備蓄品（飲料水については給水可能量）と需要量の差による不足量	—	新規 追加	・新規追加項目
	<b>新</b> 災害廃棄物	災害廃棄物（震災がれき）	[市町村] ・建物の全壊、焼失等による躯体系からの災害廃棄物の発生量	—	新規 追加	・新規追加項目
	<b>新</b> 孤立集落	孤立集落	[箇所] ・全てのアクセス道路が土砂災害危険箇所等に隣接している集落における孤立化	—	新規 追加	・新規追加項目
交通施設	道路	高速道路・国道・県道の橋梁・斜面・盛土	[構造物] 地震時に被害を受ける確率	○	○	・内閣府(2012)手法の採用 (施設管理者による耐震化評価の状況の確認などを含む。)
			[市町村] 道路構造物の被害箇所数	○	○	・内閣府(2012)手法の採用
		高速道路・国道・県道	[2交差点間] 道路の導通確率（車両の通り抜けの確率）	○	○	・内閣府(2012)手法の採用
		高速道路・国道・県道	[主要都市間] 主要都市間の導通確率及び最適ルート	○	○	・内閣府(2012)手法の採用
	鉄道	JR各線・しなの鉄道・長野電鉄・松本電気鉄道・上田交通	[主要駅間] 被害箇所数	○	○	・内閣府(2012)手法の採用
	空港	松本空港の建築物・滑走路	[松本空港] 地震動・液状化による影響度	○	○	・内閣府(2012)手法の採用
地震水害	河川	主要河川	[河川] 水害危険性	○	○	・評価手法の検証
	ため池	農業用ため池	[箇所] 地震時の被害危険度	○	○	・評価手法の検証
			[箇所] 被害危険度別影響人口・戸数	○	○	・評価手法の検証
	ダム	貯水ダム	[箇所] 地震時の堤体影響度	○	○	・評価手法の検証

評価項目		評価対象	[評価単位] 評価内容	現行 H12, 13	新想定 H25, 26	新想定検討事項（現行想定からの変更点）
ライフ ライン	上水道	上水道配水管	[メッシュ] 地震動・液状化による被害箇所数	500m メッシュ	250m メッシュ	・内閣府(2012)手法の採用
		水道水の供給支障・復旧	[市町村] 断水戸数・復旧日数・最大要応急給水量	○	○	・内閣府(2012)手法の採用 ・復旧の様相について、時間経過による被害箇所の推移について想定するかについて検討
	都市ガス	ガス埋設管	[メッシュ] 地震動・液状化による被害箇所数	500m メッシュ	250m メッシュ	・内閣府(2012)手法の採用
		ガスの供給支障・復旧	[市町村] 供給停止戸数・復旧日数	○	○	・内閣府(2012)手法の採用 ・復旧の様相について、時間経過による被害箇所の推移について想定するかについて検討
ライフ ライン	下水道	下水道の管路施設	[メッシュ] 地震動・液状化による被害箇所数	500m メッシュ	250m メッシュ	・内閣府(2012)手法の採用
		下水道の復旧	[市町村] 応急復旧日数・工事開始時期	○	○	・復旧の様相について、時間経過による被害箇所の推移について想定するかについて検討
	電力	架空配電線支持物（電柱）	[メッシュ] 地震動・液状化・火災による被害基数	500m メッシュ	250m メッシュ	・内閣府(2012)手法の採用
		電力の供給支障・復旧	[市町村] 停電世帯数・復旧日数	○	○	・内閣府(2012)手法の採用 ・復旧の様相について、時間経過による被害箇所の推移について想定するかについて検討
通信施設	電話	市内系電話線の電線支持物、地下ケーブル	[メッシュ] 地震動・液状化・火災による被害基数、被害延長	500m メッシュ	250m メッシュ	・内閣府(2012)手法の採用
		電話回線の機能支障・復旧	[市町村] 機能支障回線数・復旧日数	○	○	・内閣府(2012)手法の採用 ・復旧の様相について、時間経過による被害箇所の推移について想定するかについて検討
	防災行政無線	施設位置	[箇所] 施設位置での地震動・液状化危険度	○	○	・評価手法の検証
重要施設 被害	施設	災害対策本部施設（市町村庁舎等） 防災活動拠点施設（警察署・消防署所） 避難活動拠点施設（避難所） 医療拠点施設（救急告示医療機関）	[市町村・医療圏] 地震動・液状化・火災による危険度 市町村毎の建物機能評価 活動可能性評価 全体評価	○	○	・評価手法の検証
③文化財	国宝 重要文化財	被災の可能性の高いメッシュに 所在する文化財	所在文化財数	○	○	・新規追加項目